



表紙、目次、規約、編集後記、編集委員、奥付、contents、裏表紙

メタデータ	言語: ja 出版者: 大阪公立大学 現代システム科学研究科 現代システム 科学専攻 言語文化学分野 公開日: 2024-04-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/0002000668

言語文化学研究

青木賜鶴子 教授 退職記念号

第 19 号

和泉式部の和泉下向	青木賜鶴子	一
一条朝の「くひな」詠 —和泉式部百首を起点として—	岸本 理恵	一一
続・定家本『伊勢集』の書写態度 —『後撰集』との関係から—	加藤 雄一	二五
『源氏物語』における手習歌的な和歌 —藤壺宮の歌「袖ぬるる」の袖の所在をめぐる—	小西 美来	四五
院政期における王昭君説話受容の一考察 —『龍鳴抄』にみえる『俊頼髓脳』の影響—	妹尾 恵里	五九
<翻刻> 大阪公立大学中百舌鳥図書館蔵 『平家物語』(四)	奥村 和子	七三
シテとシテカラが表す意味の比較 —出来事の継起的関係を表す場合に注目して—	森田 耕平	17
The discourse on bilingualism in postcolonial Korea: Focusing on the language revitalization movement	Jinsuk YANG	1

2024年 3 月

大阪公立大学 現代システム科学研究科
現代システム科学専攻 言語文化学分野

規 約

- 1) 雑誌『言語文化学研究』は、3分冊とし、それぞれ「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」とする。
- 2) 大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野所属の教員は、雑誌『言語文化学研究』に投稿することができる。
- 3) 下記3つの範疇に属する者で、大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野所属の教員の推薦を受けた者は、『言語文化学研究』に投稿することができる。
 - (1) 大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
 - (2) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者、並びにその前身となる教育課程の修了生
 - (3) その他特に、大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野所属の教員が認めた者
- 4) 投稿は未公刊学術論文に限る。
- 5) 原稿の査読・採否の判断その他の編集業務はすべて編集委員会の決定にしたがって行う。編集委員会は、教授1名以上を含む委員構成にする。なお、査読は複数の査読者によって行われる。
- 6) 投稿方法、原稿の書式については別に定める投稿規定、執筆要項を参照のこと。
- 7) 掲載原稿の著作権は、著者に帰属する。ただし、編集委員会は、掲載原稿を電子化し、公開・配布するための権利を有するものとする。
- 8) 掲載原稿は原則的に、大阪公立大学学術情報リポジトリOPACで公開する。<https://opac.ao.omu.ac.jp/>

編 集 後 記

『言語文化学研究 第19号』をお届けします。

2022年4月、「大阪府立大学」「大阪市立大学」の二大学が統合され、公立大学法人大阪公立大学として新たなスタートを切りました。それに伴い、現代システム科学研究科現代システム科学専攻が誕生し、言語文化学分野が設けられました。

学術雑誌『言語文化学研究』は、この言語文化学分野所属の教員を中心として刊行しており、これまで専門分野に応じて「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」の3分冊として刊行してきましたが、第17号から合冊として刊行するに至りました。また、第18号から電子版での刊行となり、大阪公立大学学術情報リポジトリOPACで公開しています。<https://opac.ao.omu.ac.jp/>

編 集 委 員

田中美津子

山崎 正純

2024年3月31日発行

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪公立大学 現代システム科学研究科

現代システム科学専攻 言語文化学分野

Journal of Language and Culture

Vol. 19

The discourse on bilingualism in postcolonial Korea:
Focusing on the language revitalization movement

Jinsuk YANG 1

Comparison of *Shite* and *Shitekara* Forms:
Focusing on Expression of the Sequence of Events

Kohei MORITA 17

2024

Department of Language and Culture
Division of Sustainable System Sciences
Graduate School of Sustainable System Sciences
Osaka Metropolitan University

言語文化学研究

青木賜鶴子 教授 退職記念号

第 19 号

The discourse on bilingualism in postcolonial Korea: Focusing on the language revitalization movement	Jinsuk YANG	1
シテとシテカラが表す意味の比較 —出来事の継起的関係を表す場合に注目して—	森田 耕平	17
<翻刻> 大阪公立大学中百舌鳥図書館蔵 『平家物語』(四)	奥村 和子	七三
院政期における王昭君説話受容の一考察 —『龍鳴抄』にみえる『俊頼髓脳』の影響—	妹尾 恵里	五九
『源氏物語』における手習歌的な和歌 —藤壺宮の歌「袖ぬるる」の袖の所在をめぐって—	小西 美来	四五
続・定家本『伊勢集』の書写態度 —『後撰集』との関係から—	加藤 雄一	二五
一条朝の「くひな」詠 —和泉式部百首を起点として—	岸本 理恵	一一
和泉式部の和泉下向	青木賜鶴子	一

2024年 3 月

大阪公立大学 現代システム科学研究科
現代システム科学専攻 言語文化学分野